

平成 3 0 年第 3 回鹿角市議会定例会 一般質問

□質問順位及び質問所要時間

3月13日（火）午前10時～	1	栗山尚記	議員	（60分）
	2	田中孝一	議員	（60分）
	3	浅石昌敏	議員	（60分）
	4	田口裕	議員	（30分）
3月14日（水）午前10時～	5	金澤大輔	議員	（30分）
	6	児玉悦朗	議員	（60分）

□質問時間割当表

10:00	11:00	11:10	12:10	13:00	14:00	14:10	14:40
3月13日（火）	栗山尚記 （60分）	休憩 10分間	田中孝一 （60分）	休 憩	浅石昌敏 （60分）	休憩 10分間	田口 裕 （30分）

10:00	10:30	10:40	11:40
3月14日（水）	金澤大輔 （30分）	休憩 10分間	児玉悦朗 （60分）

平成30年第3回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	1	質問者	栗山 尚記	質問所要時間	60 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
1 地域医療体制について					
(1) 産婦人科大館集約計画について			① 鹿角での分娩機能維持に向けた官民の努力も実らず、大館への機能集約が決定されたが、昨秋以降の経過と今秋以降に計画されている大館市立病院への分娩機能集約までの流れを伺う。		
(2) 大館集約により起こる問題点と対策について			① 1時間弱の移動時間が加わることにより、市民の間には出産に対する多くの不安が起こり始めている。救急搬送問題や臨月時期の不安、経済的不安、入院期間の家族との物理的距離への不安等々、多くの問題が起こることが予想される。市民の不安を軽減するために、それらに対するきめ細やかな対策を具体的に、早期に示すことが不可欠と考えるが、対応を伺う。		
(3) 今後の産婦人科医確保策と分娩機能再開に向けた病院施設・助産師確保等の環境維持について			① 分娩機能再開のためには、絶対条件として全国の地方で不足している産科医師確保が必要となる。さらには、設備機能の維持や助産師を初めとする人材の維持など多くの必要条件が考えられるが、これらに対する力強い施策について伺う。		
(4) その他の医師確保、地域医療体制維持について			① 子供を産み育て安心して暮らせる町づくりには、産科医以外にも小児科医・麻酔科医を初めとした多くの医師の維持や確保と合わせた地域医療体制の整備維持が必要と考えるが、今後の施策や計画を伺う。		
2 労働人口の減少について					
(1) 少子高齢化と人口減少に伴う働き手確保への対策について			① 求人倍率の上昇に対し、少子高齢化と人口減少が進む中、市内の多くの業種で働き手不足が顕著になり、事業経営上深刻な状態が進んでいる。これに対する行政としての対応を伺う。		

平成30年第3回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	1	質問者	栗山 尚記	質問所要時間	60 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
(2) 早期離職対策について			① 若年層を中心に、就職しても早期に職場を離れてしまう現象は改善してきているところだが、これも事業所にとっては働き手不足の大きな問題となっている。行政としてどのような施策で対応するのか伺う。		
(3) 外国人労働力による可能性について			① 人口減少、少子高齢化が進み、国内での労働力確保が難しい現実を踏まえると、外国人労働者による働き手の確保も有効的な手段と考えるが、市としての考えを伺う。		
(4) 将来の労働力となる若年層や子供たちへの地元企業情報の提供について			① 将来、鹿角の活力の源となる若年層や子供たちへの地元企業の情報提供は、労働力確保への大事なポイントと考えるが、現在高校生に行っているこれらの事業の対象を中学生に広げられないか伺う。		
3 各種スポーツ大会の開催について					
(1) PDCAによる大会競技運営について			① 今年度開催された「ねんりんピック」や、全国中学校スキー大会等のビッグイベントでは、どのようにこれまでの各種大会開催による経験を踏まえてのPDCAによる大会競技運営が行われたのか。また、今後の課題についても伺う。		
(2) PDCAによるイベントとしての大会開催によって生まれる経済効果について			① 競技環境を整えることにより、選手が最高のパフォーマンスを発揮できるのが基本だと思うが、大会開催による交流人口の拡大による経済効果を上げることは、市政にとっての大きな役割だと思うことから、どのようなPDCAが行われたのか伺う。また、今後の課題についても伺う。		

平成30年第3回鹿角市議会定例会一般質問

No.3

順位	1	質問者	栗山 尚記	質問所要時間	60 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
(3) 東山スポーツレクリエーションエリアの整備拡充について				① 各種大会開催の中心となる東山スポーツレクリエーションエリアのメンテナンスや拡充は、大会開催やイベント誘致継続のためには欠かせないポイントと捉える中で、スキー場のナショナルトレーニングセンター指定やサッカー場等のサブグラウンド整備、屋内プールの整備など、大会や合宿誘致へのさらなる効果的な環境拡充をする必要があると思うが、考えを伺う。	

平成30年第3回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	2	質問者	田中 孝一	質問所要時間	60 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
1 福祉、介護対策について			① 少子高齢化により高齢者世帯が増加し、老々介護といった厳しい家庭環境が予想される中で、高齢者世帯の福祉を支える地域での連携した支援の取り組みが必要と思うが、市としての支援策について伺う。 ② 市区町村が手がける軽度者向け介護サービス施設で、スタッフ不足等により経営難になっているといわれるが、当市においてはどのような状況にあるのか。また、今後の対応策をどのように考えているのか伺う。 ③ 医療費抑制や健康づくりの取り組みをしているが、その内容と成果の状況について伺う。 ④ 団塊の世代が75歳を迎える2025年は、高齢者の増加で地域福祉は最も厳しい峠になるとされる。これを乗り切るためには元気で、安心して住み続けられる地域づくりが大事であり、生きがいとなる就労とコミュニティーの場としては農業の受け皿づくりが適していると思うが、農業の担い手不足からも、農業と連携した地域福祉づくりを考えられないか市の考えを伺う。		
2 雇用対策について			① 会社経営者の中で「仕事はあるが人手不足によって事業を受注することができない」といった雇用状況にあると聞くが、当市の場合はどのような状況にあるのか。また、今後の対応策をどのように考えているのか伺う。 ② 県内の高卒内定率が高水準といわれるが、当市の地元就職する高校生の現状はどのような状況にあるのか。また、地元就職した場合の支援策はあるのか伺う。		

平成30年第3回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	2	質問者	田中 孝一	質問所要時間	60 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
3	学校、教育について			① 通学路の安全、安心のため、危険箇所の点検や点検後の対応はどのような状況にあるのか伺う。 ② 「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果では秋田県は全国平均を上回るとされるが、当市はどのような状況にあるのか。また、課題とされるものは何か、市の考えを伺う。	
4	道路維持補修について			① これまでの市直営の道路維持センターを廃止して、民間委託を前提とした道路維持管理体制の見直し計画を策定して進めるとしているが、これまでの体制とどのように変わるのか。また、市民サービスの面で後退はないのか伺う。	
5	運転免許証の自主返納について			① 当市の運転免許証自主返納の状況と、返納した場合の優遇措置はどのようなものがあるのか伺う。	
6	地域づくりについて			① まちなか賑わい創出、地域コミュニティの活性化のため、複合施設「コモッセ」の建設や周辺道路整備、さらに駅前整備計画等による整備が進められている。また、コモッセの利用者が当初計画より増加している状況にある中で、周辺商店街の経済効果をどのように捉えているのか伺う。 ② 当市における新設住宅着工戸数(新築、増築、改築)の推移はどのような状況にあるのか。また、近年の景気回復動向から変化がみられるのか伺う。	
7	ふるさと納税について			① ふるさと納税の寄附金は重点プロジェクトに位置付ける事業の財源としているが、これまでに活用されている事業は何か。また、返礼品の状況はどのようなになっているのか伺う。	

平成30年第3回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	3	質問者	浅石 昌敏	質問所要時間	60 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
1 農業問題について					
(1) 水田関係制度説明会・生産調整推進員会議について			① 減反政策廃止に伴い、水田関係制度説明会・生産調整推進員会議が開催されたが、説明会・推進員会議での出席者の新しい制度への理解度は、どの程度と考えているのか伺う。また、飼料米・加工米への取組で新しい制度に伴う考え方と、需要と供給バランスについて現状を伺う。		
(2) 農事組合法人について			① 数年前から県・市の指導により市内にはたくさんの農事組合法人が設立されたが、設立後数年が経過したことにより、組合員の高齢化・後継者不足・労働者不足等の問題点が発生しており、経営的にも厳しい法人もあると聞くが、市としてこのような法人について調査等、何らかの対応を行っているのか伺う。		
(3) 水田の不作付地の取り扱いについて			① 平成29年度までは、不作付地の改善計画提出後に3年間経過した後も作付が再開されない場合、交付対象より除外されていたが、平成30年度からの新しい制度では、平成29年度まで除外されていた水田の取扱いはどのようなになるのか伺う。		
(4) 水田活用の直接支払交付金の産地交付金における畑地化助成について			① 平成30年度新規事業として畑地化助成が示され、産地交付金の対象作物が作付された農地で平成30年度以降、5年間継続して販売を目的とした作付がなされ、概ね5ha以上の団地が形成される場合、10ha当たり10万5,000円が交付されるが、5年間経過後はどのようなになるのか伺う。		
(5) 生薬植物の栽培取組について			① カミツレやキキョウなどの生薬植物を栽培する八峰町に、このほど製薬会社から3,000万円が送られたとの報道があった。市としても今後カノコソウ等の生薬栽培に取り組むことが必要と考えるが、市の考えを伺う。		
2 認知症対策について					
(1) 鹿角市の現状と対策について			① 厚生労働省が平成24年に公表している認知症有病率推定値15%、MC I 有病率推定値13%を当てはめると、認知症・MC I 有病率推定合計は、平成29年でどのくらいの人数と予想しているのか、また、何らかの対策は行っているのか伺う。		

平成30年第3回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	3	質問者	浅石 昌敏	質問所要時間	60 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
3	公共土木施設の維持管理について	(2)見守りネットワーク事業におけるQRコード入りシールの配付について	① 奈良市では、行方不明高齢者対策として、QRコード入りシールの無料配付やGPS携帯端末の有料貸出を行っているが、市としても見守りネットワーク事業でQRコード入りシールのような事業を導入できないか伺う。		
		(1) 鹿角市の現状について	① 市の公共土木施設の修繕や改修等が必要な箇所の通報・要望等は、現状は自治会長が行っており、一般市民が通報しても「自治会長にお願いします」と言われる。現状市職員のパトロールも行っているが、その他の通報・確認の方法は何か行っているのか伺う。		
		(2)市民協働型の維持管理について	① 京都市では「公共土木施設の損傷を写真や位置情報付きで簡単に投稿できるスマートフォン用アプリ」を使用し、管理事務所に連絡することができるシステムを導入している。鹿角市でも毎年道路の不具合による事故等により、専決処分などで賠償をしていることなどから、「簡単に投稿できるスマートフォン用アプリ」を使用した、広く市民が通報できるようなシステムを導入できないか伺う。		
4	鹿角の医療と子育て支援について	(1) 分娩機能を大館市立総合病院へ集約することについて	① 大変残念なことではあるが、鹿角の分娩機能は今秋大館に集約されることとなった。しかし、市民は大館に集約されることに不安を感じており、市としてどのような対策を考えているのか心配されている。交通アクセス・悪天候時・冬期間の移動や緊急時の対応等、関係団体を含めて今現在、どのような対策を行っているのか伺う。		
		(2) かづのファミリー・サポート・センターについて	① センターは、地域の中で育児について助け合う会員組織であり、最近の利用者も増え大変役立っている。提供会員は有償ボランティアとして1時間600円の報酬を受けているが、センター側からは「市の助成部分を増やしてほしい」との要望がある。秋田県の最低賃金に見合う程度に市の助成を増やすことはできないか伺う。		

平成30年第3回鹿角市議会定例会一般質問

No.3

順位	3	質問者	浅石 昌敏	質問所要時間	60 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
5 災害対策について (1) 河川堤防の不具合の確認について (2) 米代川の浚渫状況について (3) 災害時の持出グッズの配付について				① 八幡平を流れる米代川・熊沢川において、大きく曲がる部分の堤防が削られた危険箇所が数カ所ある。この状況を県・市は把握しているのか伺う。 ① 浚渫工事によって、河川断面が拡大し安全な流下が図られることから、県では災害対策の一環として、来年度以降も計画的に進めていくとのことであり、新年度も浚渫工事は進むかと思われるが、川幅が狭く堤防が低い花輪堰根川原地区の浚渫工事は計画に入っているか伺う。 ① 地球温暖化・異常気象のためか、近年鹿角地区は毎年大雨に見舞われている。市民の防災意識を高めるため、全世帯へ災害時の持出グッズの配付はできないか伺う。	

平成30年第3回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

No.1

順位	4	質問者	田口 裕	質問所要時間	30 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
1 米生産調整の廃止に伴う影響と対応について 2 分娩機能の大館集約問題について 3 医療の拠点集約化について 4 高校の統合について				① 米生産調整の廃止により、地域とも補償制度などもなくなる。販売面はもちろん地域環境などに懸念があるが、どのような影響が出ると想定しているのか。また、それに対しどのような対応をしているのか伺う。	
				② 販売競争が一段と激しくなると思われる。鹿角の生産者の経営基盤はまだまだ脆弱な状態である。さらなる経営・販売面でのサポート体制が取れないか伺う。	
				① 医療サイドの課題によりやむを得ないとすれば、地域医療は守れないと思う。「安心してお産ができるようにしてほしい」という声にどのように応えていくのか伺う。	
				① 大館鹿角医療圏という枠組みの中で、今後も大館への集約が想定されるが、どのようにして地域医療を守っていくのか。また、誰がこの地域の医療を担っていくのかという課題に直面しているが、市の考えを伺う。	
				① 県主導のもと協議会が続いているが、その内容はどのようにになっているのか伺う。	
				② 市内の高校が現在地から移転した場合、どのような影響が出ると想定しているのか伺う。	
				③ 設置場所、統合校の内容等、鹿角地域のあり方に大きく影響することになる。町づくりの一環として鹿角地域の意思・考え方を県に提示していくことができないか伺う。	

平成30年第3回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	5	質問者	金澤 大輔	質問所要時間	30 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
1	市内の企業への副業・兼業の解禁と促進の働きかけについて		① 市で企業側に「ワークライフバランス優良企業」として推奨するなど、副業の規制緩和を働きかけてはどうかと考えるが、市の考えを伺う。		
2	キャリア教育について		① 市で「U-25TOHOKUソーシャルビジネスコンテスト」の自治体課題の部に参加したようだが、どのくらいの応募数でどのような提案があったか伺う。 ② 鹿角市独自でこのようなビジネスコンテストを開く考えはないか伺う。 ③ 「県外大学等調査研究活動事業」として白鷗大学の学生に来ていただいたとのことだが、その内容と結果について伺う。 ④ 「みらい輝く人材育成事業」として、「鹿角GENKIカレッジ」という事業を実施しているが、内容と参加人数を伺う。 ⑤ この3つの事業は、キャリア教育と人材育成という点で、方向性是一緒だと思う。また、学校単位でも独自にやっているところもある。それぞれでやるより連携して繋いだ方が効果と広がりがあると思う。例えば、まちづくりを課題として、それを「鹿角GENKIカレッジ」の講座にして、県外大学等調査と連携して大学生と意見交換や交流をしてもらい、ビジネスコンテストなどに応募してもらい、優秀なものをシェイププロモーションで実現させるといったように、連携して道筋をつくることはできないか伺う。		
3	職員の人材育成について		① 鹿角市では、コンプライアンス以外の研修等はどの程度実施されているのか伺う。		

平成30年第3回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	5	質問者	金澤 大輔	質問所要時間	30 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
4 職員の人事評価について				② 民間では社員からの提案で業務改善につながる事例が多くあるが、市の職員にはそういった機会を設けているのか。また、機会があるとすれば具体的にこれまでどのような提案があり、実際に採用された例はあるのか伺う。 ③ 愛媛県では、県内はもとより全国の市町村が行政改革の先進事例を共有し、自らの取り組みに活用することで、行政改革のより一層の推進を図り、自治体間で刺激し合い、高め合うことで、より良い地域づくりへつなげていくことを目的とした、「行革甲子園」という取り組みを行っており、発表事例を中心に他の市町でも取り組みが広がるなど、優良事例の波及効果が認められている。このような取り組みを市でも導入してみてはどうか伺う。	
				① 新年度から、人事評価システムを給与の昇給に反映させる仕組みを導入するとのことだが、この人事評価システムに、市民の声を外部評価として取り入れる考えはないか伺う。	

平成30年第3回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	6	質問者	児玉 悦朗	質問所要時間	60 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
1	「地域新エネルギービジョン」について		① 「地域新エネルギービジョン」事業展開の可能性があるのか伺う。		
2	政策研究所の政策実現性について		① 政策研究所の提言で実現、もしくは着手しているものがあるのか伺う。 ② スポーツツーリズムを第2次スポーツ推進計画に追加する考えはあるのか伺う。		
3	医療の広域連携について		① 医療の広域連携を結ぶ通院用の搬送車を運行し、市民の利便性を図ることができないか伺う。		
4	所有者不明な土地の発生状況について		① 所有者が判明しない土地の面積と増減傾向について、また、所有者の特定に向けての方策について伺う。 ② 長年にわたって相続手続きがなされていない事案への対応について伺う。		
5	スキー全国大会の誘致について		① 今後も全国規模のスキー大会を開催される予定があるのか。また、開催されるよう積極的に誘致する考えはあるのか伺う。 ② 誘致するための設備や体制整備など現在の状況と課題、今後の計画について伺う。		

平成30年第3回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	6	質問者	児玉 悦朗	質問所要時間	60 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
6	学校の統合、再編計画について			① 花輪第一中学校の改修について、トイレの洋式化や冷暖房のほか、熱中症対策として冷却ミストの増設はできないか。また、スクールバス利用料金を無料にできないか伺う。 ② 花輪北小学校と平元小学校統合の検討委員会からの提言を受け、再編計画の変更はあったのか。また、学区の運用についての基本姿勢を伺う。	
7	教職員の勤務状況について			① 教職員の出退勤務記録簿を業務改善にどのように生かしていくのか。そして、各学校で改善の協議がなされているのか。また、どのような改善が必要なのか伺う。 ② 児童生徒の「いじめ」「引きこもり」の実態、調査内容、対応策について伺う。	
8	高校の統合について			① 高校の統合によって、本市の教育方針や中学校の授業内容に影響があるのか。また、統合に関連して秋田県教育委員会へ要望していることがあるのか伺う。	